

調査レポート

RESEARCH
REPORT

令和7年6月期 景気見通し調査

業界の景況は2期ぶりに改善しましたが、製造業の先行D-I値は、米国関税政策や不安定な世界情勢の影響により、大きくポイントを下げる見込みです。
カスタマーハラスメント対策については、被害を受ける前の予防的対策が進んでいない現状です。

調査概要

○調査時期

令和7年5月26日(月)～6月6日(金)

○調査方法 FAX・Google

フォームからの回答受付

○調査対象 会員小規模事業所

1954件

○回答数 410件 (回答率21.0%)

(D-I値とは…)

ディフュージョン・インデックス

(Diffusion Index)の略で景気動向を示す指標。「良い」「上昇した」とする割合から「悪い」「下落した」とする割合を差し引いたもの。

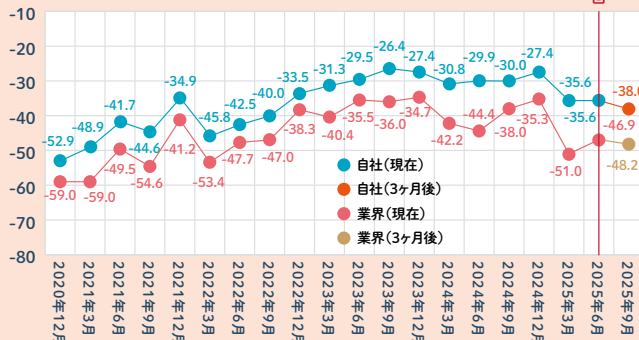
業界・自社の景況

業界の景況は、現在D-I値が▲46・9と2期ぶりに改善した。一方、先行D-I値は▲48・2とわずかながら悪化の見通しとなった。(グラフ1) 製造業の先行D-I値は▲62・5(ー11・4ポイント)と大幅な悪化が見込まれ、米国の関税政策の影響による声も聞かれた。

自社の景況は、現在D-I値が▲35・6で、前回(令和7年3月期)と同値となった。一方で、3か月後の先行D-I値は▲38・0とやや悪化する予測で、先行きに対する慎重な見方が強まった。

グラフ
1

業界・自社の景況

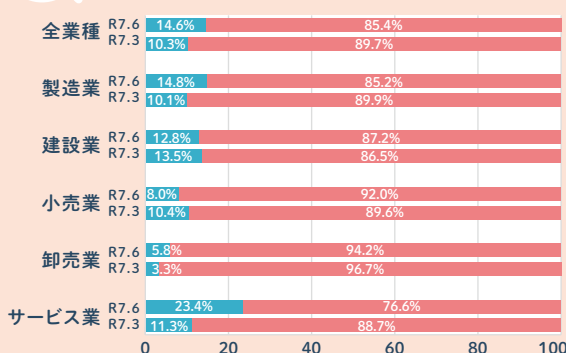


業種	前回との調査比較					
	業界の景況	自社の景況	売上高	販売価格	仕入価格	採算
全業種	UP	MAINTAIN	DOWN	DOWN	UP	DOWN
製造業	UP	DOWN	DOWN	DOWN	DOWN	DOWN
建設業	DOWN	UP	UP	DOWN	DOWN	DOWN
小売業	UP	DOWN	DOWN	UP	UP	DOWN
卸売業	DOWN	DOWN	DOWN	DOWN	DOWN	DOWN
サービス業	UP	UP	UP	DOWN	UP	UP

※青の矢印は改善、赤の矢印は悪化、黄の矢印は維持を表しています

グラフ
2

今後3ヵ月以内の設備投資計画



今後3ヵ月以内の設備投資計画は、「投資計画あり」が14・6%となった。業種別にみると、景況感や売上高などの項目で改善傾向が見られたサービス業で「投資計画あり」が23・4%(+12・1ポイント)と大幅に増加した。尚、「投資計画あり」と回答した事業所の投資内容では、「設備更新」が58・3%(+13・1ポイント)と最も多く、次いで「IT・情報化」が28・3%(+16・4ポイント)と大幅に増加し、運輸業者からは「昨年から労働時間規制の影響もあり、ドライバー管理をデジタル技術で効率化する予定」との声も聞かれた。(グラフ2)

設備投資

Q 経営上の課題

経営の課題（内的要因）では、「受注・販売量不足」を挙げる回答が46・0%と2期連続で最多となった。次いで「人材確保・育成」が41・3%、「価格の適正化」が35・0%と続いた。（グラフ3）

業種別を見ると、「受注・販売量不足」が製造業で55・8%、小売業で57・1%、卸売業で72・0%と課題として最も多く挙げられた。また、「人材確保・育成」が建設業で60・4%、サービス業で49・5%と最多で、業種間で差が見られた。

Q 特別調査

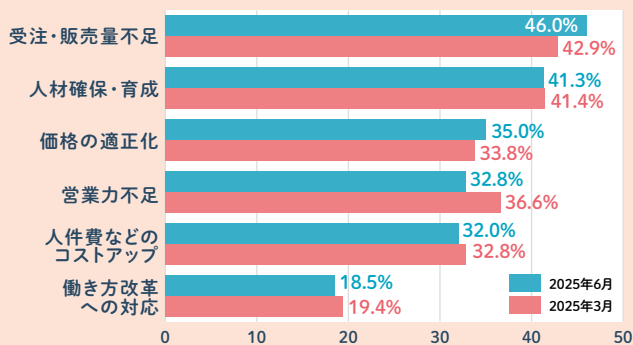
「カスタマーハラスメントに関する調査」

（カスタマーハラスメントとは…）
カスタマーハラスメントとは、顧客等から従業員などに対する業務に関する著しい迷惑行為のことで、暴行、脅迫、傷害、名誉毀損などの行為を指す。

カスタマーハラスメントの被害経験の有無を尋ねたところ全体の10・1%が「ある」と回答。特に、一般消費者との取引をメインとするサービス業および飲食業では20%以上となった。

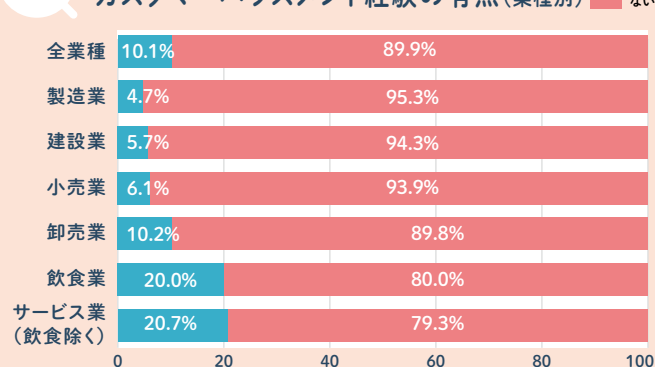
経営上の課題（内的要因）

グラフ 3



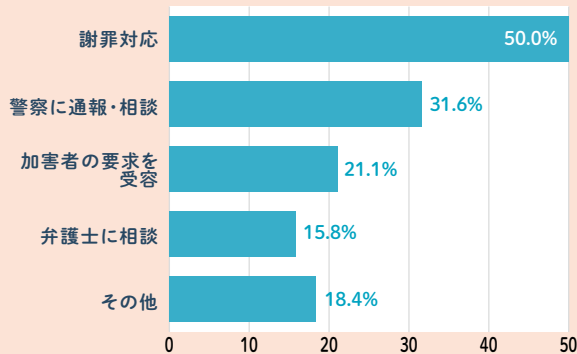
カスタマーハラスメント経験の有無（業種別）

グラフ 4



被害を受けた際に取った行動

グラフ 5



対策実施率は12・9%と、ほとんどの事業所で対策が進んでいないことが

被害内容では「暴言・中傷」が68・3%と圧倒的に多く、次いで「誤情報の拡散」（24・4%）、「営業妨害」（22・0%）と続いた。
被害発生時の対応を尋ねたところ「謝罪対応」が50・0%と最多となったほか、「加害者の要求を受容」も21・1%となり、顧客満足を優先するあまり企業として毅然とした対応を取れない事業所が多いことがわかった。（グラフ5）一方、中には「加害者の元に直接乗り込んだ」「取引を中止した」「出入り禁止の対応を取った」など、毅然とした対応をとった事業所もあった。

お問い合わせ

福井商工会議所
金融・会計相談課

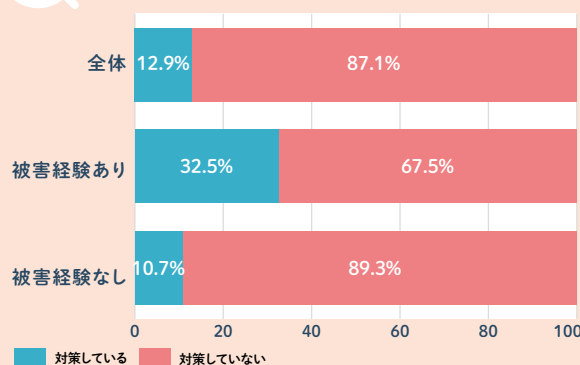
TEL
0776-33-8284

詳しくはこちら



カスタマーハラスメント対策について（被害経験別）

グラフ 6



わかった。被害経験別では、被害経験のある事業所で32・5%が対策を実施している一方、被害経験のない事業所では10・7%に留まった。（グラフ6）被害経験を契機に対応を強化する構図が見て取れるものの、被害を受ける前の予防的対策が進んでいない現状である。